

中長期ビジョン／第14次中期経営計画

代表取締役社長
鈴木 吉憲

中長期ビジョン

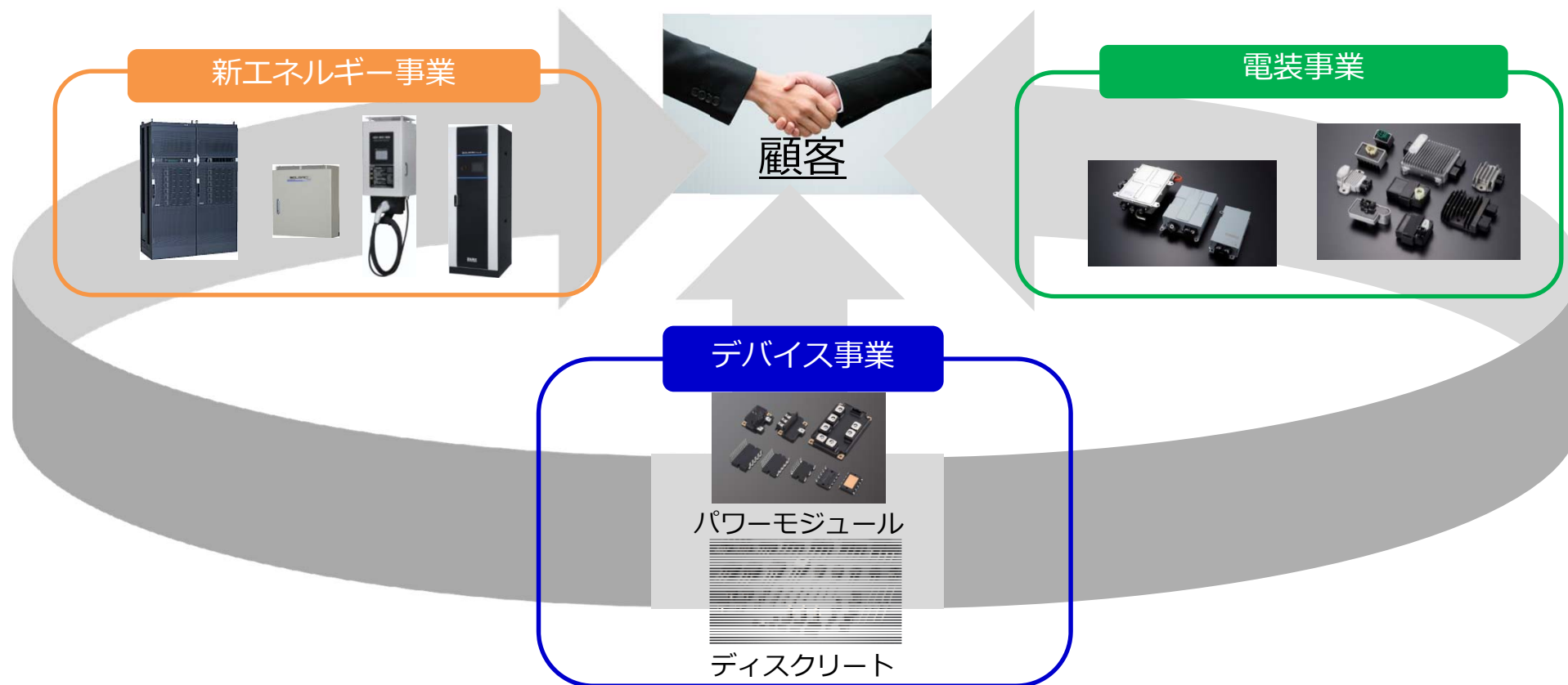
中長期ビジョン

2021年に向けての中長期ビジョン

「半導体の活用による部品事業への転換と高収益体質への挑戦」

半導体の活用による部品事業への転換

自社のパワー半導体をキーとして、コンポーネントである電装製品や電源製品を更に進化させ競争力向上



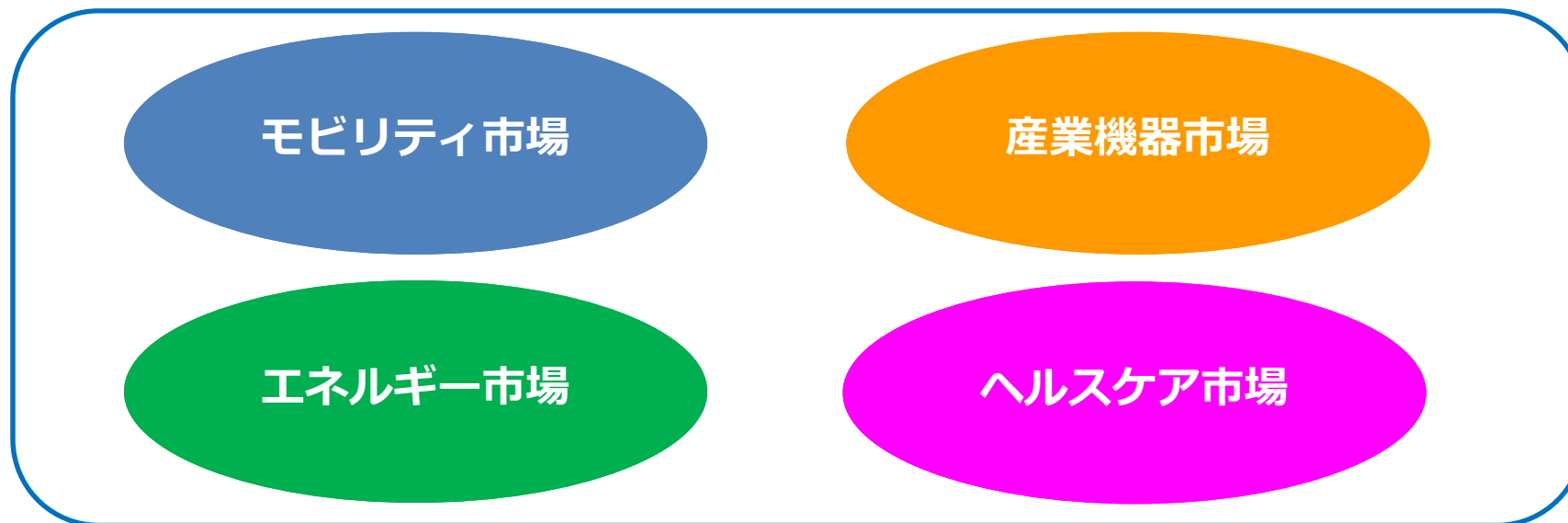
中長期ビジョン

高収益体質への挑戦

製品開発スピードを上げることで、新製品投入サイクルを早め、高収益体質を作る

重点市場

従来から成長市場と位置付けているモビリティ、エネルギー、産業機器に新たにヘルスケア市場を加えた4つを重点市場に位置付ける



中長期ビジョン

✓ 重点市場

モビリティ市場

- ・次世代自動車
- ・次世代自動車インフラ

<戦略製品>

パワーモジュール
パワー半導体・IC
レギュレータ、
DC/DCコンバータ
各種ECU
EV充電器

産業機器市場

- ・F A
- ・工作機械
- ・ロボット

<戦略製品>

パワーモジュール
パワー半導体・IC
インバータ
超小型電源

エネルギー市場

- ・太陽光発電システム
- ・燃料電池
- ・通信装置
- ・O & M事業

<戦略製品>

パワーモジュール
パワー半導体・IC
各種PCS
通信装置用電源

ヘルスケア市場

- ・医療機器
- ・介護用ロボット
- ・支援ロボット

<戦略製品>

パワーモジュール
パワー半導体・IC
インバータ

中長期ビジョン

✓ 2021年度 数値目標

F Y 2 0 2 1 目標

連結売上高 1, 5 0 0 億円、連結営業利益率 1 0 %、R O E 1 0 %

	F Y 2 0 1 5 実績	F Y 2 0 1 8 計画	F Y 2 0 2 1 目標
売上高	9 8 1 億円	1, 2 0 0 億円	1, 5 0 0 億円
営業利益率	0.7%	6.0%	1 0.0%
R O E	0.4%	8.0%	1 0.0%

第14次中期経営計画

第14次中期経営計画

第13次中期経営計画の振り返り

成果

- 新製品の投入・拡大（FI-ECUの投入、太陽光発電向けPCS）
- パワーモジュール事業の立ち上げ
- 海外市場の開拓（新電元インドニア稼働開始、インドネシア新工場）

課題

- 太陽光発電向けPCSに続く、新製品の投入
- パワーモジュール事業の拡大
- 海外市場の開拓（マーケティングと技術サポートの強化）

第14次中期経営計画

経営方針

「技術優位への挑戦、スピード、海外への販売拡大」

中期経営計画の位置付け

「2021年度に向けた成長基盤を築く」

事業方針

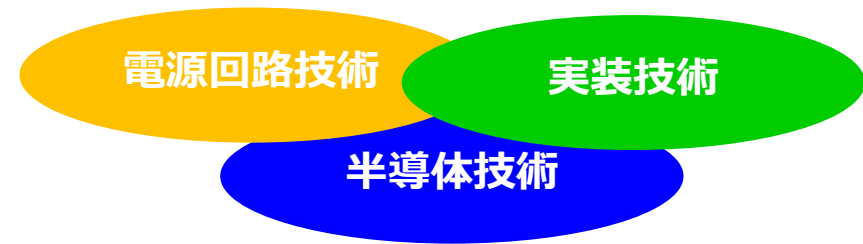
- ◆ 技術の深耕
- ◆ 海外事業の強化
- ◆ 事業転換の促進
- ◆ 生産コストの改革
- ◆ 経営品質の向上

第14次中期経営計画

事業方針

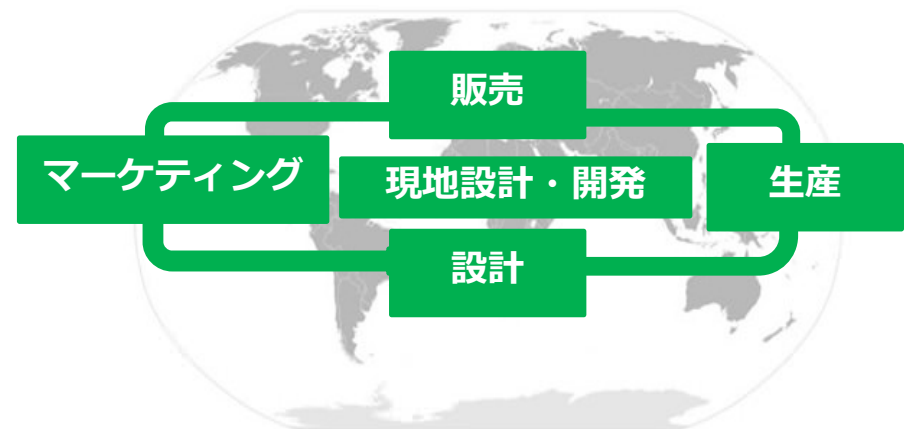
技術の深耕

- ✓ 半導体をキーとした事業シナジーの推進
- ✓ 開発スピードアップ
- ✓ 製品品質の向上



海外事業の強化

- ✓ 欧米・アジア圏で、非日系顧客への拡販
- ✓ サポート体制強化
- ✓ 海外売上比率の拡大



第14次中期経営計画

事業方針

事業転換の促進

- ✓ 既存事業・製品の見直し
- ✓ 製品構成の新陳代謝

生産コスト改革

- ✓ 省人化投資
- ✓ 調達方法の見直し

経営品質の向上

- ✓ 海外市場拡大に向け、グローバル人材の育成
- ✓ ICT活用
- ✓ BCP強化

第14次中期経営計画

✓ 2018年度 数値目標

連結売上高 1, 200億円、連結営業利益率 6%、ROE 8%

	FY2015 実績	FY2016 計画	FY2018 計画
売上高	981億円	988億円	1,200億円
営業利益率	0.7%	4.6%	6.0%
ROE	0.4%	7.0%	8.0%

【2016年度～2018年度の累計投資額】

設備投資 250億円

研究開発投資 200億円

M & A ・ アライアンスの検討

本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとはことなる結果をなる可能性があります。